

## － ボンベには転倒防止・漏れ防止・過熱防止 －



夏場のアセチレンボンベと酸素ボンベに不可欠な安全対策です  
安全衛生法ではボンベ表面の加熱温度上限は40度と定められています。

直射日光にさらされた条件ではすぐに上限を超えて過熱してしまいます。  
夏場に溶接、溶断作業を行う場合、持ち込まれたボンベは必ず写真のような過熱防止シート、もしくは日除けにより過熱対策を行なったうえで使用して下さい



さらに、ボンベにはいかなる使い方で転倒防止が必要です

なぜ、寝かしてはいけないのか？

それは、転がるから危ないなどの理由の他にアセチレンボンベは内部のアセチレン溶剤の混合比率が定められており、容器を倒すと内部の比率が変わるため、アセチレンの化学的安定性が損われるためです。

異常燃焼、爆発などの危険が生じますので絶対に転倒防止の措置を行なってください

写真はいずれも専用の台車にボンベがセットされています  
これなら移動してもその都度転倒防止の対策をしなくとも済むので、良い方法ですね。

### 新発田建設の安全ルール

§. ボンベには上記のとおり安全対策を行なったうえで使用願います

ガスの漏れ確認については「石鹼水」等を使用して確実に点検できるようにご配慮願います。